



# Flash News

〈フラッシュニュース〉

三重大学

第26号

目次

- 「三重大学と放送大学で単位互換モデル構築の覚書」に調印
- 「?『発見塾』」三重大学シリーズの開催
- 三重大学 作業環境測定を学内の有資格者で実施

お知らせ

- 三重県移動防災情報センター車「防災みえ号」の出発式と三重大学でのお披露目
- 日米3大学を結ぶ遠隔授業の実践
- カセサート大学より訪問団
- 「最優秀授業賞」工学部機械工学科で表彰
- 附属図書館の地域貢献活動から
- ・留学生センターから
- ・人事課から

## 「三重大学と放送大学で単位互換モデル構築の覚書」に調印



豊田 長康学長

放送大学学園  
上月 正博総務部長

本学は、4月1日「三重大学と放送大学との間における単位互換モデル構築に向けた研究プロジェクトの実施に関する覚書」に調印しました。2003年7月に締結した単位互換協定に基づき、今後、放送大学が開設する授業科目を多様な形で利用し、その教育効果等を検証しつつ、放送大学を有効に活用するための在り方を研究するものです。この研究プロジェクトによって、本学と放送大学間の効果的な単位互換モデルの構築が期待されます。本年度第1回目の授業は、授業科目名「現代社会と著作権」で、4月14日から開始しています。また、夏季集中科目2科目、第2学期4科目の授業を予定しています。

## 「?『発見塾』」三重大学シリーズの開催

本学は、津文化協会（辻本當理事長）と連携し、教育研究活動を市民に向けて継続的に情報発信していくための文化講演会「?『発見塾』」三重大学シリーズの第1回目を4月23日、津市立図書館において開催しました。今回は、山田康彦副学長が「アートの人々のものにするために」、また、菅原洋一創造開発研究センター助教授が「ご存じですか三重大学」の講演を行いました。今後は、偶数月の第4土曜日に津市立図書館（原則）を会場とし、地域社会の発展と安定に必要な身近にある問題などを取り上げ、継続的（年6回）に開催していきます。第2回目：6月25日「本当のアトピーを知っていますか」（水谷仁教授・医学部）、第3回目：8月27日「産業の活性化とまちづくり」（鹿嶋洋助教授・人文学部）を予定。



山田康彦副学長

## 三重大学 作業環境測定を学内の有資格者で実施

本学では、昨年度、業者に依頼して行った労働安全衛生法で定められている作業環境測定のうち、有機溶剤及び特定化学物質にかかる作業環境測定を平成17年度から学内で実施することになりました。このことは、作業環境測定法の主旨に則り、「自社測定」できるよう、工学部技術系職員に作業環境測定士の資格取得を要請したもので、見事5名が合格し、必要機器等を整備の上、本年度からスタートできることになりました。今後、コスト削減にも繋がります。作業環境測定は、大学という試験研究機関において、とりわけ使用頻度の高い有機溶剤・特定化学物質を対象に実施するもので、所期の目的が達成されるものと期待されます。



## 三重県移動防災情報センター車「防災みえ号」の出発式と三重大学でのお披露目

災害現場における情報収集・分析機能と現地災害対策本部機能を合わせ持つハイテク情報通信機器を搭載した移動防災情報センター車「防災みえ号」(三重県)が完成し、出発式が4月15日三重県庁舎で行われました。車両の製作に関わった本学災害対策プロジェクト室の川口淳助教授(車両の仕様の検討)と教育学部の岡田博明助教授(車両のデザイン)が同車両の衛星通信機能を使って衛星中継で式典に参加しました。また、出発式を終えた車両は、お披露目のため地震体験車「体験くん」と共に三重大学事務局前を訪れ、学長、役員をはじめ教職員・学生らが震度7の地震の体験と見学を行いました。



## 日米3大学を結ぶ遠隔授業の実践



三重大学、ノースカロライナ大学ウilmington校(UNCW)、イーストカロライナ大学(ECU)を結んだ遠隔授業が4月15日と22日の2回行われました。この遠隔授業は教育学部英語科「異文化理解ゼミナール」(担当:荒尾浩子助教授)、UNCWの「中級日本語II」(担当:加納洋子講師・学芸学部)と、UNCWの授業を受講しているECUの日本語クラスを繋いで実施されたものです。UNCWと英語科の遠隔授業は今年度で8年目を迎え、Polycomの高性能な通信により鮮明な映像・音声を通してお互いの顔の表情、声がライブで交換でき、臨場感あふれる会議となりました。米国の学生が、事前に日本の学生によって直された日本語作文を基にプレゼンテーションを行い、その内容や日米文化について、英語・日本語を用いて質疑応答や情報交換を活発に行いました。

## カセサート大学より訪問団

4月19日、大学間協定校であるタイのカセサート大学(団長:Prof. Nontawat・工学部長)の一行が日本の新エネルギー実情調査の訪日のため、工学部を訪問されました。それぞれの大学が工学部の概要を説明し、意見交換では、カセサート大学も来年は独立法人化を控えているため、予算とその配分、外部資金獲得法とその使途、個人業績評価とその賞罰、学生集めと就職先(市場)開拓、リーダーシップと権限実態などの戦略議論、その他、国際インターンシップ・ダブルスクーリング/ディグリー・学生と先生の交流システム・共同研究推進などお互いの参考になる議論が交わされました。交流会でも本音の意見交換ができ、有意義な国際交流となりました。



## 「最優秀授業賞」工学部機械工学科で表彰

工学部機械工学科(学科長:水谷一樹教授)では、FDの一環として教員の教育に対する質的貢献を評価することになり、機械工学科の学生が当該年度の授業評価アンケートで授業内容の水準および授業方法の工夫に対して最も高く評価した授業の担当教員に徳田正孝教授・稲葉忠司助教授を選出し、平成16年度最優秀授業賞を贈りました。最優秀授業賞の表彰は4月26日に機械工学科教室会議の席上で行われ、加藤征三工学部長から賞状が贈呈されました。その後、受賞教員から授業方法の工夫についての説明があり、活発な質疑応答が行われました。

## 附属図書館の地域貢献活動から

附属図書館では、医学部の中野正孝教授との連携により、三重県看護協会主催の「認定看護管理者研修」のカリキュラムの一つとして、平成14年度から「インターネットを活用した看護情報検索」を実施しています。この度、この活動が昨年度に引き続き文部科学省の「国立大学図書館における特色ある取組」として紹介されることになりました。昨年度は「安全で安心できる社会の実現に向けて一現代社会の課題へ対応した取組」として、「東南海・南海地震シンポジウム」が採用されており、2年連続の快挙です。また、本学の図書館は平成11年度から三重県図書館情報ネットワーク(MILAI)に参加してきましたが、この4月から、その相互貸借のための搬送システムにも参加したため、参加館約50館の図書が送料無料ですべて借りることができるようになりました。ぜひご利用ください。なお、MILAIの総合目録システム[https://idx.milai.pref.mie.jp/MEPUTL/servlet/search.inp\\_cond](https://idx.milai.pref.mie.jp/MEPUTL/servlet/search.inp_cond)で参加館の蔵書検索ができます。

## お知らせ

### 留学生センターから「国際貢献フェスタinみえ2005」開催

■開催日時:6月11日(土)-12日(日) 11:00-18:00 ■開催場所:アスト津 3F・4F ■内容:ワークショップ・国際しゃべり場(本学留学生も参加)・写真展示等(詳しくは、[www.pref.mie.jp/kokusai/hp/](http://www.pref.mie.jp/kokusai/hp/))

### 人事課から「執務室での軽装を“ノーネクタイ、ノー上着!”

本学では、環境に配慮し、地球温暖化対策の一環として、自主的に6月1日~9月30日までの間、冷房の適温化徹底の取り組みを行います。冷房室温は28℃設定とし、また、併せて節電へのご協力をお願いします。

## 投稿のお願い

各種事項(大学教育・研究、地域連携、国際交流、学内事業等)に関するフレッシュなニュース提供をお待ちしています。

亀岡孝治(vpre-info@mie-u.ac.jp)または井上真理子(mariko-i@ab.mie-u.ac.jp)まで。場合によっては、取材に向きます。

《フラッシュニュースのバックナンバーは、三重大学ホームページで(<http://www.mie-u.ac.jp>)ご覧いただけます。》 編集責任者/理事・副学長 渡邊悌爾